

科目名	スタディスキル (幼教)				担当	◎千葉 直紀・小池 明・多田 幸子		
形態	講義	単位数	2	開講時期	1年通年	実務経験	—	
必修	卒業：必修				ナンバリング	KA101	DPとの関連	1
授業概要	本学の教育理念「敬愛・勤勉・聡明」の趣旨を理解し、自主的に学ぶことの必要性和意義を理解する。その上で、教養と経験の豊かな保育者を目指してそれにふさわしい実践力を身につける。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の方法を身につけ、みずからの主体的な学びに生かすことができる ・子どもとの具体的な関わりにおいて、基礎的な知識・技術を生かすことができる 							
授業計画	回	内容						
	1	オリエンテーションおよび本学の教育理念	本授業の趣旨を理解する 本学の教育理念を理解し、学びの意義を考える					
	2	幼児教育学科での学び	本学科で学ぶことの意義を理解する。また、本学科の教育課程を理解し、2年間を通じた学習の見通しを立てる					
	3	学びの技法① 語彙力の確認	保育者に必要となる語彙力・読解力の基礎を確認する					
	4	学びの技法② 読解力の確認	保育者に必要となる言語表現能力の基礎を確認する					
	5	学びの技法③ 引用と要約の確認 (「研究倫理教育」)	レポートや論文を作成する際に重要となる「研究倫理」について学ぶ					
	6	学びの技法④ プレゼンテーション 1	他者に情報を伝える際の技術について学び、プレゼンテーションの計画を立てる					
	7	学びの技法⑤ プレゼンテーション 2	プレゼンテーションの計画と作成					
	8	学びの技法⑥ プレゼンテーション 3	プレゼンテーションを通して、自分の考えを発表することの意義と方法について実践的に学ぶ					
	9	あそびプロジェクトについて (オリエンテーション)	子どもとの関わりのあるあり方について考察する					
	10	あそびプロジェクトに関する説明	あそびプロジェクトに関するグループ内における対話を重視した活動やねらいの立案を行う					
	11 ~ 13	あそびプロジェクトの準備	子どもと関わるプロジェクトを学生自身が企画・立案し、準備を行う					
	14	あそびプロジェクト	子ども (本学附属幼稚園の園児) を短大に招いて、あそびを中心としたイベントを行う					
	15	まとめ	実際に行った体験的な学びについて省察を行う					
	評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の方法を身に付け、自らの主体的な学びに生かすことができたか ・子どもとの具体的な関わりにおいて、基礎的な知識・技術を生かすことができたか 						
評価方法	その他 100% (前期：授業中に課される課題 50% 後期：あそびプロジェクトへの参加態度 50%)							
フィードバック方法	プレゼンテーション・あそびプロジェクトに対する講評							
アクティブラーニング	グループワーク・プレゼンテーション							
教科書	特になし							
参考書	特になし							
履修条件	入学前課題を行い提出していること。本授業を通して、上田女子短期大学の理念を理解する。前期・後期それぞれに実施されるプログラムに積極的に参加し、学びの基礎を身につける。 ※あそびプロジェクトにおいて準備物に実費がかかる場合があります。							
授業外学習	事前学習：キャンパスガイドに掲載されている本学の教育理念をよく読んでおくこと (各回 30 分)。 事後学習：授業内プリントの復習等 (各回 1 時間)							
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること							